

令和6年8月定例記者会見 市長原稿(要旨)

まずはじめに、市職員の「チームビルディング研修」に関する情報提供です。

本市では、職員のチーム力を向上させるため、コミュニケーションの重要性をアスレチックという体験から学ぶため「チームビルディング研修」を実施しており、初開催から今年で3年目になりました。

今年度もこの研修を9月13日・金曜日に実施します。会場は、全国的にも大学内の施設としては数少ない、流通経済大学内のアスレチックフィールドを利用し、講師に、流通経済大学の教授を迎え、同大学との連携事業「龍・流連携」という形で実施するものです。

龍ヶ崎市がより良いまちになるよう、日々尽力している職員ですが、日々の業務では、黙々と仕事に向かう場面が少なくないのも事実です。

子どもの頃の絵日記や感想文の文末には、「楽しかったです」「またやりたいです」と締めくくられていた職員も多かったと思われませんが、大人になり、仕事になると、いつの間にかそのような思いから、かけ離れてしまいます。

アスレチックを活用する今回の研修では「楽しかった」「わくわくした」そのような心の動きから、気づき、学んだ経験を経て、新たな発想や取組を生み出すことに繋げることがこの研修の本質でもあります。

研修に参加した職員が、体験から得た楽しさや気づきを職場の中で活かすだけでなく、流通経済大学という日常から離れた新鮮な空間で学ぶことで、視野を広げることを期待しているところでもあります。

座学の研修も重要ではありますが、このような研修を通し、職員の自己理解を深め、他者理解できることで、共に支えあう協調性、相互の信頼感を育成し、リーダーシップを向上させる。すなわち、市民のために最大限の力を発揮できる、職員の育成、チーム作りをしてまいりたいと考えております。

次に、本市の地域資源のひとつである牛久沼を活用したウォーターアクティビティ体験イベントの情報提供です。

近隣自治体などと構成する小野川探検隊連絡会議では、この度、今年度の交流事業として、牛久沼の自然を体感できるウォーターアクティビティ体験イベントを開催いたします。

主催である小野川探検隊連絡会議は、本市が今年度は事務局を務め、小野川流域に属する阿見町、美浦村、つくば市、稲敷市、牛久市の6市町村を含む34団体で構成されている団体です。

今般開催するイベントは令和6年9月21日土曜日・午前9時30分から、牛久沼かっぱの小径付近を会場といたします。すでに参加の申込は締め切っておりますが、約40名の参加がある見込みです。

本イベントは、牛久沼の湖岸において、パドルボード体験や生き物探し、水質調査といったレクリエーションを実施し、牛久沼の水環境の豊かさやレジャー体験の楽しさを実感していただくという内容になっております。

普段は牛久沼に訪れる機会が少ない参加者の方におかれましても、牛久沼の自然に触れ合い、楽しんでいただく貴重な機会になることかと存じます。

報道機関の皆様におかれましては、子どもたちが牛久沼の自然に触れて、新たな発見を重ねて、体験を楽しむ姿を取材いただけますと幸いです。

以上が、私からの情報提供となります。